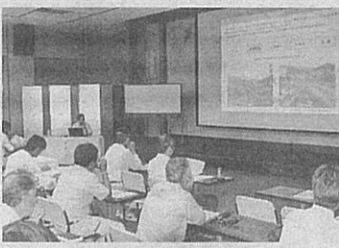


徳島県協 第2回技術 講習会開く

徳島県測量設計業協会（齋藤恒範会長）は21日、2017年度第2回技術講習会を徳島県建設センターで開き、約130人が受講した（写真）。

冒頭、あいさつに立った水上博史副会長は「県ではあらゆる自然災害を



迎え撃つために強靱（きょうじん）な県土づくり

を推進しているが、私たち協会員には社会資本整備の品質を確保する上で、礎となる優れた技術力が求められている。今日の講習を業務に役立てられるよう、しっかりと学んでほしい」と呼び掛けた。

講習では、はじめに県道路整備課防災・安全対策担当主任主事の山田浩輝氏が「徳島県道路啓開計画について」をテーマに講演した他、徳島労働基準監督署労働基準監督官の吉成俊輔氏が「労働災害防止のための安全管理について」、本四連絡高速道路長大橋技術センターの西谷雅弘氏が「200年以上利用される橋を指して」、福井コンピューターの今田慎治氏が「設計データ作成と点群データ活用事例」、東陽テクニカの前田文孝氏が「マルチビーム計測と港湾におけるi-Constructionにつ

いて」の演題でそれぞれ講演した。